

# 鶴岡市ボランティアセンターだより

## 学生ボラたちが 繋がる日 ❤



▲▼部活・サークル活動紹介  
みんな活発で質問もいっぱい



「ビジュ…いいじゃ～ん！」

### 学生ボランティア交流会 in 鶴岡 2025

今年も、12/7(日)、鶴岡市総合保健福祉センターにこ❤ふるを会場に、中高・高専生やスタッフの大学生等35名が参加して、交流会を開催しました。

例年、市教育委員会社会教育課と協力し、市内の高校・高専のボランティア部や地域学生ボランティアサークルを対象に実施。今年は、庄内教育事務所が8月に市中央公民館で行った「YYボランティアサマーチャレンジ」に参加した中高校生にも案内し、部活等に加入していない人たちとの交流も出来ました。

#### 今年の研修テーマは「災害」

今年度の研修は、「災害」をテーマに、市防災安全課の岡部純専門員を講師に迎えて、段ボールベッド等の取扱いを学びました。ほとんどの学生が初めての経験で、災害時の大変さを想像しながら協力体験していました。



◆講師の岡部  
防災安全専門員

#### 参加者の声より（一部）

- ◆具体的に災害の大変さと、ボランティア活動の実情や大変さが分かった。
- ◆高校生になったら、ぜひどこかの部活かサークルに入ってみたいと思う。
- ◆日頃他の団体・個人と交流する機会がないので、大変貴重で有意義な交流会だと思う。



交流会の詳細等は、市社協  
ホームページから確認できます。  
<https://www.shk01.jp/info-r8-01-06-2/>

◀ボラスタッフの佐々木さん。他に山大生の加藤さん田中さんもボランティアで活躍してくれた



▲トークタイムでも、若者らしい意見がいっぱい出された

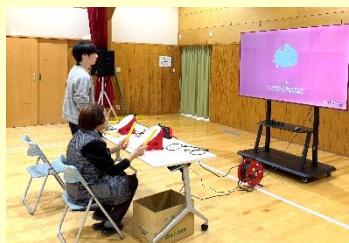


▲段ボールベッドや簡易トイレは、  
みんなで協力して組立・分解を体験

### 個人で活動する学生ボランティアも大活躍！

ボランティア関係の部活・サークルに加入していない高校生、大学生等が活動する機会も年々増えています。庄内教育事務所が8/7に実施した「YYボランティアサマーチャレンジ」には、50名の中高校生が参加。夏休み期間の、県青年の家主催「夏の体験ボランティア」でも、鶴岡市内の児童館や高齢者施設等で多くの学生がボランティアを体験しました。

当センターの紹介では、牧場の活動や障害者施設の農作業、児童館、地域サークル活動、小学校の福祉学習、そして12/7の学生ボラ交流会のスタッフ等々、若者たちの力が様々な場面で大いに発揮されています。



▲湯田川地区の脳活サークル  
では大学・高専生がお手伝い

◀朝陽第五小学校の福祉学  
習で山大生がサポーター協力

# 観光×福祉で…まちはもっと優しくなる ❤



## 「山形県観光介助ボランティア事業」とのコラボ

「旅を諦めない」

移動やコミュニケーションに不安を抱える方を含め、誰もが旅を楽しめる環境づくりを目指して、県や県内観光分野の機関・団体と、当社協の「障がいがある人等へのサポートボランティア講座」をコラボした取組が、鶴岡市内で実施されました。

### 「アクセシブルツーリズム」理解促進研修会

10/17(金)、東京第一ホテル鶴岡で行われた研修会には、観光・福祉関係者や市民等50名が参加。観光分野での先進事例等を学びました。鶴岡市からは、温海地域を中心に障がいの有無に関係なく海水浴やマリンスポーツ等を楽しめる環境づくり等に取り組んでいる「NPO 法人自然体験温海コーディネット」の富樫シゲトさんが活動紹介をしてくれました。その後のサポート体験では、当社協の本木麻衣子看護師が車イス介助、福祉学習センターの佐々木智洋さんが視覚障がい者サポートの講師となり、体験講座を行いました。参加した方からは「今、観光分野でのバリアフリー環境はマスト」という声も聞かれました。



▲どちらのサポートも、声掛けやコミュニケーションが基本。初めて見る装備に驚きも！



### 市内観光地でのモニターツアー

12/4(木)、あいにくの雪模様となりましたが、県や関係団体の職員等による観光地巡りが実施されました。鶴岡公園周辺施設では「鶴岡観光ガイド協議会」の花岡琢也会長、羽黒山周辺では「いでは観光ガイド」の田村廣実代表の協力により、観光客が多く訪れる施設等の設備や状況を確認して巡りました。

▲参加者や地元の人たちの理解や工夫・協力により、車いすでも観光することができた

※アクセシブルツーリズム：障がい者や高齢者など、移動やコミュニケーションに困難を抱える人々のニーズに応えながら誰もが旅を楽しめることを目指す取組のこと。

## 15年間 鶴岡と石巻をつなぐ絆

### 石巻市の蟻坂隆さんに感謝状贈呈

平成23年3月、東日本大震災発生直後に縁があって、鶴岡市役所と当社協は蟻坂さんと繋がりを持ちました。それ以来、石巻市湊地区でのボランティア活動は被災地の状況に合わせて変化していきました。その絆は現在も続き、鶴岡の学校や団体等が防災研修等で石巻市を訪れています。この15年間、ずっと受け入れや調整してくれたのが、蟻坂さんでした。11月18日(火)、当社協主催「福祉のつどい」で蟻坂さんにこれまでのご尽力に対して感謝状を贈呈いたしました。

右上写真：平成23年石巻市での活動前(右端が蟻坂さん)

### 蟻坂さんご夫妻講師で研修会

当日の午後に、ご夫妻を講師に迎えて、NPO、青年会議所、市役所と当社協職員を対象にした「災害ボラセン運営連携に向けた研修会」を開催しました。



ボラセン情報、ボラセンだよりバックナンバー等は、  
鶴岡市社協 HP よりご覧いただけます！

<https://www.shk01.jp/>



## 働き難さを抱えた人の就労センター募集



障がい者や引きこもりだった人が、商工業者の仕事を手伝ったり、野菜作り作業などにチャレンジする際、伴走支援する就労センターを募集しています。

○活動内容 現場へ一緒に出向き、雇用主から作業内容等をお聞きし、作業する人が仕事を出来るように伴走支援(サポート)します。

○活動時間 半日単位(曜日等は調整させていただきます)

○費用弁償 ガソリン代、昼食代として3,000円(半日単位)

### ○申込み・問合せ先

社会福祉法人月山福祉会「あしたば・あぐりランド事業所」

鶴岡市馬場町1-6 電話・fax 0235-33-8939

## 助成金募集 公益信託莊内銀行ふるさと創造基金

○助成対象 

- ・地域住民と一体になった社会教育的な活動
- ・学校における教育的な活動
- ・県内に伝わる文化的な活動

○募集期間 2026年1月5日～2月16日

○助成金額 1団体につき 10万～40万円

詳細・申込希望の場合は、基金HPをご覧下さい

<https://www.shonai.co.jp/aboutus/csr/kouekijyosei.html>



《らくがき》 明けましておめでとうございます。昨年は、例年以上に新たな出会いや取組が多くあった1年でした。本年も、皆さんにとりまして素敵な1年になりますようお祈りいたします。何とぞよろしくお願ひいたします。(H)

